

学生はアジアをどう見ているのか

——中国・アジアに対する感情を量る——

木村 裕章

東亜大学 総合人間・文化学部 文化文明史研究室

E-mail: kimura@toua-u.ac.jp

1. はじめに

昨年4月に、中国において大規模な反日運動が起こった。そのきっかけとなったのは、インターネットで発生した日本の国連常任理事国入りに対する抗議で、それが若者の間にあった反日感情と重なり、反日デモや日本製品ボイコットなどの行動に発展した。そしてさらには、大使館に物が投げつけられたり、日本人が経営する店が破壊されるなどといった一部の過激な行動により、今度は日本国内に嫌中感が充満した。

それでは、日本の学生たちはこのような現実をどのように受け止め、どのように考えているのであろうか。彼らの心の中の感情は目で見ることができず、それを量ることは実際には非常に難しい。また、私たちは他国に対するイメージを主観的・断片的に判断してしまう傾向が強い。そこでここでは、中国語を履修している1年生に対して実施した「中国語に関するアンケート」とコミュニケーション論を履修している学生に対して実施したアジアの人たちについてのアンケートを中心に、日本人である彼らが中国・アジアの国や人々に対してどのような考えや感情を抱いているのか（対中・対アジア感情）を具体的な数字を検証することによって客観的に明らかにいくことにする。

2. 「中国語 I」履修者へのアンケートより

私は大学において13年間中国語を教えてきたが、一時期非常に多かった中国語の履修者が、最近急激に減少している。その原因の一つとしては、最近の韓国ブームでハングルを学ぶ学生が増えたことであるが、それに加え、昨年は履修直前に起こった中国での反日運動が大きく影響しているようである。1年生の「中国語 I」の最初の授業では毎年中国語に関するアンケートをとっており、まず、その結果を見ながら彼らの中国・中国語に対する考えを量っていくことにする。

A 「中国語に関するアンケート」（平成17年4月15日実施、回答者数：48名）

1) あなたが中国語を選択した理由は何ですか？

（記述式、複数回答、※以下①～は順位、（）内は人数を表す）

①これからは中国（11）

・これからの時代は中国だから。・今からは中国が発達してくるので、将来役立つと思う。・将性のある国だと思ったから。

②a. 中国語が役に立つ（4）

・これからは中国語が大切になると思ったので。・これから必要になるのではないかと思った。今から使えそうだから。・今後の人生で役に立ちそうなので。・これからの時代

は中国語が流行する気がするから。

②b. 興味があった (4)

・興味を持ったから。・5カ国語の中で一番興味があったから・前々から関心がありました。

④a. 話せるようになりたい (3)

・中国人ともものすごく話しがしたいから。
・中国語を話せるようになりたいから。・話せた方がいいかなと思って。

④b. 身近な国 (3)

・楽しそうだから、日本に身近な国だから。
・身近に感じたから。

④c. 中国の人口が多い (3)

・世界の人口の1/5を占める中国の存在は大きい
ため、経済的にも文化的にも日本との繋がりが
増えているので、将来自分の役に立つのではない
かと考えました。・日本と関係が深く将来役に
立ちそうだから。・中国は人口も多いので、
これから先出会っていく数が増えた時に、
言葉と話せたらコミュニケーションもとれやす
いと思うから。

④d. 行ってみたい (3)

・行ってみたい国・将来行ってみたいから。
・アジアで一番大きいので、行ってみたいから。

⑧a. 同じ漢字を使う (2)

・漢字ということで一番親しみがあったから。
・私の得意科目は国語なのですが、中国語は漢
字を多く使い、どこか日本語の意味に近いよ
うな漢字もある気がして、初めからハングル
を学ぶよりは、少し身近に感じる中国語を学
んでみようと思いました。

⑧b. おもしろそう(2)

・おもしろそうだったから。

⑧c. 再確認のため (2)

・中国語の基礎を再確認のため・昨年理解で
きなかった。

⑪その他 (各1)

- a. 最近色々問題などもあり、中国を耳にするようになったから。
- b. 教職必修だから。
- c. 身近に習っている人がいるから。

d. 姉が勉強していて面白いと言っていたから。

e. 英語以外の外国語を勉強してみたかったから。

f. 英語や仏語と違い、漢字の組み合わせで文章を作っていくのがおもしろいと思った。

g. なんとなくかっこいいから。

h. 中国との経済活動が密接になってきているから。

i. 世界共通語の一つで、行ってみたい国の中で一番近い国だから現地で会話をしたいから。

j. 中国はすごいから。すごい人がいっぱいいる。

k. 選択の中で一番学んでみたかったから。

l. 中国映画をよく見るから中国に興味をいだいた。中国と日本の今の仲がよくないから、仲が少しでもよくなるように、少しでも中国を知って中国の人と交流したい。

m. 文法が英語に似ているということもあります。

n. 漢字が苦手なので、漢字を好きになりたいから。

o. 多くの国の言葉をマスターしたくて中国語を選んだ。

p. 高校の時に国際経済コース(となりのクラス)が中国語を勉強していておもしろそうだったから。

q. 中国とかチャイナタウンとかで、値切ってみたい。

r. 韓国の次にブームになりそうなので。

s. 私は沖縄出身で、琉球の時代から交流のある中国に興味があったので、まずは中国語を習ってみようと思いました。

この問いに対する答えとして、①の「これからは中国」と②aの「中国語が将来役立つ」いう意見は1つにまとめてもよいかもしれないが、合わせると15人で、アンケートを始めた13年前からすでに多く出ていた意見である。

②b、④aでは以前から興味を持っていたり、中国の人と話がしたいという積極的な意見が7人から出ている。④bの「身近な国」④cの「中国の人口が多い」という意見も毎年よく出てくるもので、飛行機で2時間程度で行け、世界人口の「5人に1人が中国人」という事実は中国語を学ぶ必要性を述べる上でも特に説得力のある理由である。また、⑧aの「同じ漢字を使う」ことも日本人にとっては大きな優位点であり、中国語が学びやすいと感じられる大きな理由であるが、実際には発音の指導においてローマ字表記を用い、発音自体も他の外国語よりかなり難しいので、途中で難しいと感じる学生が多いことも事実である。⑪の少数意見は①～⑧までに吸収できるものもあるかもしれないが、特に⑪1の「中国と日本の今の仲がよくないから、仲が少しでもよくなるように、少しでも中国を知って中国の人と交流したい。」という意見は現状を鑑み、中国語学習を通して中国を理解したいという積極的な気持ちが伝わってくるものである。

2)「中国」と聞いて、何を連想しますか？(記述式、複数回答)

- ①(12)人口が多い
- ②(5)パンダ、万里の長城、中国雑技団
- ⑤(4)三国志、食べ物おいしい・食べ物がたくさん、4000年の歴史
- ⑧(3)でかい・国土面積、中華料理、漢方薬、反日デモ・反日運動、経済の発展が著しい・経済成長中・そろそろ日本経済に追いつく
- ⑬(2)物価が安い、漢文、北京、上海、自転車が多い、チャーハン、赤、漢字、茶・ウーロン茶
- ⑳(1)一人っ子政策、民族、竹、北京原人、寺、マージャン、儒教、飲茶、フカヒレ、弁髪、酔拳、日本を嫌ってそう、紅茶の世界三大の一つ(キーマン)、大気汚染、近い、笹、スポーツ、ワイヤーアクション、少林寺拳法、経済格差、今一番きてる国、西遊記、ラーメン

この問いに対する答えでは、学生が抱えている中国のイメージを表しているが、①の「人口が多い」が12人と圧倒的に多く、②の「パンダ、万里の長城、中国雑技団」が5人とおなじみの中国を代表するものが登場している。また、⑤以下では歴史や食べ物、地名などに関するものが多い。さらに今回の特徴としては⑧に「反日デモ・反日運動」が3人、⑳に「日本を嫌ってそう」が1人おり、中国国内の情勢に数名の学生が敏感に反応していることが伺える。

3)あなたの中国人 No. 1 を1人だけ挙げてください。(注1)

表.1 平成17年度 <私の中国人 No. 1 >

順位	人 名	人 数
①	ジャッキー・チェン	28
②	毛 沢東	3
②	ジェット・リー	3
④	田さん(バイトの先輩)	1
	チューヤン	1
	関 羽	1
	ケリー・チャン	1
	金城 武	1
	スー・シン	1
	チャン・ツイー	1
	夏選手(バドミントン選手)	1
	少林寺拳法の師範	1
	諸葛 亮	1
	計	44

今回はデータの合計が44人と例年よりもかなり少ないが、①のジャッキー・チェンが28人と過半数を占めている。それから、大きく離されて②の毛沢東とジェット・リーが3人で、残りはすべて1人というようになりかなりばらけてしまっている。データのやや不足しているようなので、昨年のデータと比較してみると、次のようになる。

表.2 平成16年度 <私の中国人 No.1>

順位	人 名	人 数
①	ジャッキー・チェン	27
②	女子十二楽坊	4
	ブルース・リー	4
④	毛 沢東	3
	周 富徳	3
⑥	ジェット・リー	2
	関 羽	2
	項 羽	2
	中国雑技団の団員	2
	遅インイン(バレーボール仲間)	2
⑩	ヤオ・ミン(NBA選手)	1
	王菲(フェイ・ウォン)	1
	三蔵法師	1
	荘子	1
	李 香蘭	1
	サモハン・キンポー	1
	ウォン・フェイホン	1
	四川省出身の李さん	1
	諸葛 孔明	1
	劉 邦	1
	計	61

ここでもやはり、ジャッキー・チェンが1位で半数近くを占めており、毛沢東やジェット・リーも上位に位置している。また、テレビ番組やCMなどにも多く登場した女子十二楽坊がブルース・リーとともに2位となっているが、平成17年度は名前が登場していない。

さらに、平成12年度から平成17年度までのベスト10を比較してみると、次のようになる。

平成12年度から15年度まで1位のジャッキー・チェンに次いで、カンフー映画の草分けであるブルース・リーが2位で、ジェット・リーも10位以内に必ず登場していることから、中国や香港のカンフー・アクション映画のイメージが強いといえることができる。また、テレビの影響から周富徳、ビビアン・スー、チューヤンなど日本において活動している中国・台湾出身のタレントの名前が多く登場するが、女子十二楽坊同様、その年に流行った人が次の年になるとベスト10に入らない場合が多く見受けられ、メディアに多く登場しているかどうか

大きく影響している。また、歴史的な人物では、やはり毛沢東のイメージは強いようで、平成13、15年度には3位になっており、その他秦の始皇帝、関羽、李白、孫文などの名前が登場しているが、やはり、現在のメディアの影響力にはかなわないようである。

<私の中国人 No.1>

表.3 平成12年度

① ジャッキー・チェン	16
② ブルース・リー	5
③ 孫文	4
③ 毛沢東	4
③ 秦の始皇帝	4
⑥ ジェット・リー	3
⑥ サモハン・キンポー	3
⑥ ビビアン・スー	3
⑥ 関羽	3
⑥ 周富徳	3
計	80

表.4 平成13年度

① ジャッキー・チェン	31
② ブルース・リー	14
③ 毛沢東	12
④ 周富徳	11
⑤ 秦の始皇帝	8
⑥ 孔子	4
⑥ ビビアン・スー	4
⑧ ジェット・リー	3
⑨ サモハン・キンポー	2
⑨ 李白	2
⑨ 孫文	2
⑨ ジョン・ウー	2
⑨ フェイ・ウォン	2
⑨ 陳建一	2
計	135

表.5 平成14年度

① ジャッキー・チェン	49
② ブルース・リー	18
③ ビビアン・スー	14
④ チューヤン	7
⑤ ジェット・リー	5
⑥ 秦の始皇帝	5
⑥ 李白	3
⑥ ケリー・チャン	3
⑥ 金城武	3
⑥ 孫文	3
計	138

表.6 平成15年度

① ジャッキー・チェン	49
② ブルース・リー	7
③ 毛沢東	5
③ 周富徳	5
③ 孔子	5
⑥ ジェット・リー	3
⑥ 王監督	3
⑧ 関羽	2
⑧ ゴン・ジーチャオ (バドミントン)	2
計	84

では、これに対し中国の人たちは日本・日本人に対してどのようなイメージを持っているのであろうか。筆者は2000年に中国某大学において中国人の学生55人に対して日本に対する

アンケートを行ったが、その結果は以下の通りである。

B 「中国人に聞きました」(某大学の学生 55 人)

1) 「日本」と聞いて、何を連想しますか。(記述式、複数回答)

- ① (11)桜の花 (20%)
- ② (9)南京大虐殺 (16%)
- ③ (8)中国侵略、富士山 (15%)
- ⑤ (4)漫画・アニメ (7%)
- ⑥ (3)抗日戦争、電器・電子、科学技術大国
- ⑨ (2)太陽、軍国主義、仕事のスピードが速い、“偶像劇場”(日本のアイドルを紹介するテレビ番組)、日本料理、“日本鬼子”(戦時中使われた日本人に対する蔑称)、日の丸、

- ⑩ (1)大和民族、高層ビル、銃剣、武士道、高等教育、まじめに働く、日本語、和服、茶道、倭寇、相撲、経済、柔道、生け花、東条英機、寿司、新幹線、繁栄した姿、メル友

2) 中国で一番有名な日本人は誰だと思いますか。

- ① (8)山口百恵
- ② (7)小渕恵三
- ③ (6)東条英機
- ④ (4)高倉健、田中角栄
- ⑥ (3)木村拓哉、阿倍仲麻呂
- ⑧ (2)村山富一、安室奈美恵、反町隆史
- ⑨ (1)島袋寛子、川端康成、南京大虐殺の指導者、鈴木保奈美、滝沢秀明、紫式部、竹野内豊、山本五十六、明治天皇、東史郎^{注2)}、豊臣秀吉、金城武、夏目漱石、柏原崇

3) 日本で一番有名な中国人は誰だと思いますか。

- ① (18)鑑真
- ② (7)金城武
- ③ (5)孔子
- ④ (4)鄧小平、毛沢東、ジャッキー・チェン (“成龍”)、
- ⑦ (3)朱鎔基、江沢民

⑨ (2)周恩来

⑩ (1)秦の始皇帝、テレサ・テン (“鄧麗君”)、周海味、楊靖宇、羅大佑^{注3)}

1) では、学生に対するアンケートであっても、桜の花や富士山といった日本の象徴意外に、やはり戦争に関する事項が上位を占めている現実が読み取れる。また、勤勉さを軸に豊かに発展した日本というイメージが広く行き渡っているようである。

2) では、1980年代に中国のテレビで放映された日本ドラマ「赤い疑惑」の主人公である山口百恵が1位となっている。また、2位に当時の首相である小渕恵三、3位に東条英機と続いているが、歴史的な人物以外にも最近の日本の俳優やアイドルの名前が出ているのは、日本の芸能界を紹介する番組や雑誌の影響であり、若者の間では日本の現代文化に対する興味が高いことを表している。

3) はA3)で行った日本人の学生に対するアンケートと比較すると、1位に関してはまったく違った結果となっており、「鑑真」が18人と群を抜いている。これは中国の歴史の授業で日中交流の歴史として詳しく習う内容なので、その影響であると思われる。なお、2位以下は日本の学生と同様のものが多くが登場しており、それ以外に朱鎔基、江沢民といった政治家の名前も見受けられる。

同様のアンケートとして天児 2003 には次のようなデータがある。

C 「中国人の日本人に対するイメージ」

1) 「日本というと何をイメージするのか」(天児 2003, p.190、実施元：中国社会科学院日本研究所 2002 年)(複数回答)

表.7

① 日本軍侵略	53.5%
② 桜の花	49.6%
③ 富士山	35.4%
④ ブランド家電製品	34.9%
④ 靖国神社	34.9%
⑥ 勤勉さ	30.6%

⑦ 日章旗	30.5%
⑧ 天皇	19.5%
⑨ 右翼勢力	17.3%
⑩ 新幹線	13.6%

2) 「日本人と聞いて思い浮かぶ人物」(同上 p. 164、出典：朝日新聞)

表. 8

1997年	比率	回答者数
① 東条英機	12.1%	331
② 山口百恵	10.1%	276
③ 田中角栄	9.1%	249
④ 橋本龍太郎	6.6%	180
⑤ 山本五十六	5.3%	144
⑥ 岡村寧次 ^{注4)}	3.6%	99
⑦ 高倉健	2.9%	7
⑧ 松下幸之助	1.5%	4
⑨ 酒井法子	1.3%	35
⑩ 明仁天皇 ^{注5)}	1.2%	34
その他・無回答	46.3%	1265
計		2733

表. 9

2002年	比率	回答者数
① 小泉純一郎	15.8%	292
② 田中角栄	9.8%	181
③ 山口百恵	8.8%	163
④ 東条英機	8.6%	159
⑤ 山本五十六	5.3%	99
⑥ 中田英寿	2.1%	38
⑦ 酒井法子	2.0%	37
⑧ 高倉健	1.8%	34
⑨ 三浦友和	1.3%	24
⑩ 岡村寧次	1.2%	23
その他・無回答	43.3%	802
計		1852

B1)とC1)を比較すると、B1)では「桜の花」が11人(20%)で1位、C1)では「日本軍侵略」が53.5%と過半数を超え1位となっているが、B1)では実際には戦争に関連するもの、「南京大虐殺、中国侵略、抗日戦争、“日本鬼子”、銃剣」をまとめると25人(45%)とな

り、桜の花を大きく上回ることになる。また、C1)でも「富士山」や「ブランド家電製品」などB1)と同じような答えが登場している。また、B1)は学生を対象としているため、⑤の漫画・アニメという答えが登場しているが、実際中国において日本の漫画やアニメは異常な人気があり、これらの文化面における日本の影響は反日感情と対立する親日感情を生む大きな要因となっている。

C2)表8、表9は時期的にちょうどB2)を挟んでいるが、上位にはやはり山口百恵が登場している。また、表8、表9ともに当時の首相が上位に登場しているのはB2)と同じ特徴がある。さらに、戦争と関連して、東条英機、山本五十六、岡村寧次という名前が登場し、特に東条英機が常に上位にランクされているのが特徴的である。

3. 「コミュニケーション」論履修者へのアンケートより

平成17年度前期に行った「コミュニケーション論」の最初の授業において、異文化理解について考える上で受講学生に対して、アジアの国々とアメリカに対する親近感および今回の反日デモに関するアンケートを実施した。

D 「コミュニケーション論〈アンケート〉」

(2005.4.17 実施、回答者数：88名)

1) 中国に親近感を持ちますか？

ア. とても親近感を持つ	4人 (5%)
イ. まあ親近感を持つ	24人 (27%)
ウ. どちらとも言えない	24人 (27%)
エ. あまり親近感を持たない	23人 (26%)
オ. まったく親近感を持たない	13人 (15%)

2) 韓国に親近感を持ちますか？

ア. とても親近感を持つ	13人 (15%)
イ. まあ親近感を持つ	39人 (44%)
ウ. どちらとも言えない	15人 (17%)
エ. あまり親近感を持たない	12人 (14%)
オ. まったく親近感を持たない	9人 (10%)

3) 北朝鮮に親近感を持ちますか？

- ア. とても親近感を持つ 1人 (1%)
- イ. まあ親近感を持つ 7人 (8%)
- ウ. どちらとも言えない 13人 (15%)
- エ. あまり親近感を持たない 22人 (25%)
- オ. まったく親近感を持たない 45人 (51%)

4) アメリカに親近感を持ちますか？

- ア. とても親近感を持つ 21人 (24%)
- イ. まあ親近感を持つ 46人 (52%)
- ウ. どちらとも言えない 10人 (11%)
- エ. あまり親近感を持たない 6人 (7%)
- オ. まったく親近感を持たない 5人 (6%)

5) 現在の中国において行われている反日デモについて知っていますか？

- ア. 詳しく知っている 8人 (9%)
- イ. ある程度知っている 29人 (33%)
- ウ. 少し知っている 35人 (40%)
- エ. ほとんど知らない 13人 (15%)
- オ. まったく知らない 2人 (2%)

このアンケートは反日デモの直後にとったものであるが、5)の問いの答えから反日デモについて知っている学生が80%を超えており、その影響が若干表れているようである。まず、1では中国に親近感を持つ(ア,イ)学生が28人(32%)に対して、親近感を持たない学生(ウ,エ)は36人(41%)と上回っている。

中国に対して親近感を持たない理由として、学生の意見には次のものがある。

- ・反日デモの問題で・反日デモが起こっているから・反日活動しているから(6)
- ・行ったこともないから(3)
- ・中国人のすべての人ではないけど、反日感情がひどいから
- ・反日感情が強いから
- ・最近の反日デモによって日本人に危害を加えているから
- ・最近けんかしているから
- ・今回の反日デモや昨年サッカーアジア杯決勝の日本への批判が強いため
- ・一方的な物の言い方がいちいち頭にくる。いつまでも日本にお金を要求してくる。日本の

ODA等で軍備を拡張している。

- ・著作権無視の違法コピーがあまりにも多いのと、最近の日本の領域への侵犯などから
- ・言葉の壁を感じるから
- ・テレビを見ていて、ヒドイ事をしていると思った
- ・漢字が多いから
- ・考えたことがない
- ・興味を持たない
- ・中国人が日本人を嫌っているから
- ・遠いから
- ・いい話題がない
- ・最近の中国と日本との関係を見ると、親近感を持ってない

これに対し、2)において韓国に親近感を持つ学生は52人で全体の59%を占め、親近感を持たない学生21人(24%)を大きく上回っており、現在の韓国ブームを反映していると考えることができる。

韓国に親近感を持つ理由として、学生の意見には次のものがある。

- ・韓流ブーム・韓流ブームがきているから(7)
- ・韓国語を習っているから・自分が韓国語を勉強しているから・1年の時韓国語の授業をとっていたから(6)
- ・韓国ドラマがとても面白くてはまった・ドラマをよく見る・映画やドラマが好き(3)
- ・ヨン様の影響・冬のソナタのヨン様を知っている・ペ・ヨンジュ効果(3)
- ・近い国だから(3)
- ・日韓はライバルだから
- ・「冬のソナタ」とかあるし、同じアジア
- ・日本で韓流ブームになってるし、韓国でも日本の有名人が有名だったりするから
- ・近いし、最近韓国俳優がきているから
- ・最近ブームだから
- ・日本の音楽とか韓国の俳優とかが人気だから
- ・テレビなどでよく目にするから
- ・最近前より距離が近づいてきたから
- ・国も近いし、今は韓流ブームもあるので
- ・行ったことがあるから

- ・韓国にも野球の試合に行って、韓国の人達と交流したことがあるから
- ・料理などでいろいろと有名で、興味があるから
- ・韓流ブームでよく韓国の人を見るようになったから
- ・同じアジアだから、人種も
- ・近いし、似た文化があるから
- ・サッカーで交流したことがあるから
- ・最近ではもっとも交流に力を入れている国だと思う。文化的なものだけでなく、政治的にも親しくなれたら良い
- ・映画が日本と似ている
- ・サッカーで
- ・どんなスポーツ選手でも「国を背負って」という姿勢がすき
- ・日本との相互関係があるから
- ・一度行ったことがあり、年輩の方々は日本語をよくしゃべり友好的
- ・行くから

また、3)においては、北朝鮮に対しては拉致問題や核開発への不安の影響があり、親近感を持つ学生8人(9%)に対して、親近感を持たない学生が67人(76%)と多数を占めている。一方、4)においてアメリカに対しては親近感を持つ学生が67人(76%)、持たない学生が11人(13%)とちょうど北朝鮮と対称的な数字となっている。

次にこの結果を昨年4月27日に発表された日本人・韓国人・中国人一般に対して行われたアンケートと比較してみる。

E「日中韓3カ国世論調査」(朝日新聞2005年4月27日より、数字は%、小数点以下は四捨五入)

1) あなたは中国が好きですか。

	日本	韓国	中国
好き	10	20	—
嫌い	28	24	—
どちらでもない	60	56	—

2) あなたは韓国が好きですか。

好き	15	—	47
嫌い	22	—	7
どちらでもない	61	—	45

3) あなたは北朝鮮が好きですか。

好き	0	27	38
嫌い	79	26	9
どちらでもない	18	47	52

4) あなたはアメリカが好きですか。

好き	23	21	18
嫌い	15	25	40
どちらでもない	61	54	41

5) あなたは日本が好きですか。

好き	—	8	8
嫌い	—	63	64
どちらでもない	—	29	27

このアンケートが実施されたのは3カ国とも昨年の3月であり、反日デモが起こる前の数字である。また、ここでは、「好き」、「嫌い」「どちらでもない」という3択であり、それらの中間にある細かい数字は表れていない。比較をするためにDで行ったアンケートの「ア.とても親近感を持つ」はEの「好き」に、「イ.まあ親近感を持つ」「ウ.どちらとも言えない」はEの「どちらでもない」に、「エ.あまり親近感を持たない」「オ.まったく親近感を持たない」はEの「嫌い」に含まれると考えて検討をしてみる。

表. 10

D1)中国に親近感を持ちますか

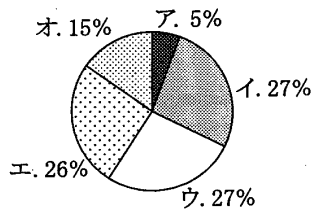


表. 11

D2)韓国に親近感を持ちますか

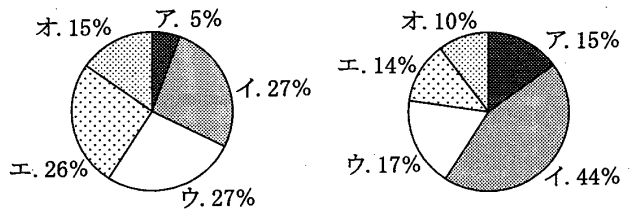


表. 12

E1)あなたは中国が好きですか (日本の答え)

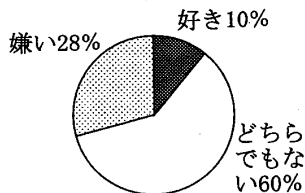


表. 13

E1)あなたは韓国が好きですか (日本の答え)

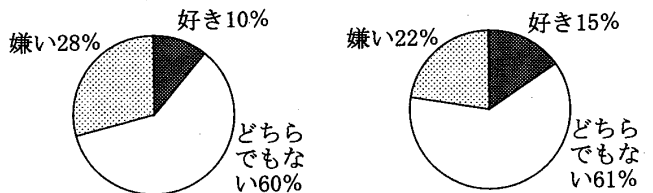


表. 14

E5)a あなたは日本が好きですか
(中国の答え)

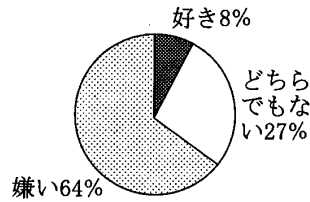
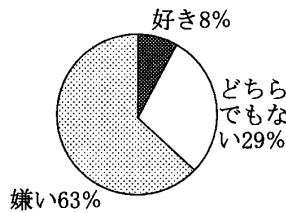


表. 15

E5)b あなたは日本が好きですか
(韓国の答え)



まず、E1)では、中国が好きなのが日本では10%となっており、D1)での5%より多い。これはDの結果が反日デモの影響を受けているからと考えることができる。E2)では、日本の「好き」がD2)と同じであるが、「嫌い」はD2)より少なくなっている。またここで、中国において韓国が「好き」が47%もあり、日本と比較するとかなり高くなっているのが注目される。E3), 4)では、全体的にDとほぼ同じ結果になっている。さらに、ここではE5)で韓国・中国に対して「日本が好きですか」という質問がされているが、韓国・中国ともに「嫌い」が3分の2近くを占め、中国だけでなく、日本人が親近感を覚えつつある韓国人たちも、日本に対する親近感が非常に低いことがわかる。

4. 歴史問題とその解決に向けて

では、これらの意識の違いが起きる原因は一体どこにあるのであろうか。この問題を考える上で、Dのアンケートにおける次の質問に対する学生の意見を見してみる。

D「コミュニケーション論<アンケート>」

6) 今回の中国における反日デモの原因は何だと思いますか？

<日本に原因> (77)

①戦争 (20)

・昔、日本人が中国人に対してヒドイことをした(4)・戦争(2)・第2次世界大戦(2)・昔、日本人がやっていたこと・昔の日本の行動・日本が中国にしたから・日中戦争で日本が何かした・昔の日本の悪さについて・昔、日本が中国に悲惨なことをした・昔の戦争・戦争の残り・戦争を引きずっている・私たちが生

まれる前の歴史的な背景・日本が過去に起こしたこと・昔の日本が悪い

②教科書問題 (17)

・教科書問題・歴史の教科書(15)・日中両国の歴史教科書の日中戦争の記述の違い(2)

③領土・資源 (12)

・尖閣諸島・島(8)・東シナ海での領土問題(2)・石油(1)・領土(1)

④歴史認識 (11)

・両国の歴史の問題(2)・日本の歴史の間違い(2)・歴史認識の違い(2)・一つの表現について両国の捉え方が違う・日本が歴史問題で中国の人の感情を傷つけた・日本が思っている中国の歴史の違い・歴史問題・歴史

⑤日本の政治・態度 (8)

・日本の態度(3)・日本(2)・あやふやな日本政治の気質(1)・日本が少し心遣いが足りない(1)・日本の過去の行為の扱い方(1)

⑥靖国問題・小泉首相 (7)

・小泉首相の靖国神社参拝(5)・小泉さんが悪い(2)

⑦謝罪をしていない (2)

・戦争中の出来事に対する謝罪(1)・昔、日本が中国にした仕打ちに、日本が謝っていない(1)

<中国に原因> (16)

①反日教育・愛国教育 (8)

・中国の愛国教育と反日教育(5)・国民性、愛国心の違い・強すぎる中国の愛国心・教育の仕方

②メディア・インターネットの影響 (3)

・メディア上での発言の暴動・メディアの影響・デモの大半が若者。ネットなどで自分たちが盛り上げている

③a.中国国内の情報規制 (2)

・自国を美化して伝えようという意識がある
・徹底した情報規制

③b.国内の貧富の差 (2)

・貧富の差(2)

⑤その他

・日本の腐敗している一部を見て、日本全体の印象を決めてしまった

＜お互い・わからない＞

- お互いが意固地になりすぎている(1)
- 知らない・よく分からない・興味がない(10)

アンケートに答えた学生 88 人中 77 人がデモの原因は日本にあるという意見を持っており、その中で多いのは①戦時中における中国に対する日本の行為や②教科書問題、③歴史認識という答えであった。日本においては過去の歴史問題の重要性を強調する声は年々弱くなる一方、中国の愛国教育にその原因を求める声が強くなる傾向にあるが、学生の意見としては、日本側の歴史認識や政府の態度や靖国問題といった日本側の責任を挙げる声が強いようである。また、中国側に原因があるとする意見では、やはり愛国教育や反日教育というものが挙げられている。これらの理由を挙げるのは日本側の一方的な傾向であるかのように思われているが、実は中国の人たち自身が教育の影響を強く受けていると感じているデータがある。

E 「日中韓 3 カ国世論調査」

- 6) あなたの日本に関する歴史認識で、最も影響が大きいと思うものは何ですか。(数字は%)

	日本	韓国	中国
自分や家族の体験	—	11	7
学校教育	—	32	42
記念館や歴史施設	—	11	11
新聞やテレビの報道	—	44	24
映画やドラマ	—	2	15

日本に関する歴史認識で、中国の人たちが最も影響を受けていると考えているのは学校教育の 42% となっており、その他新聞やテレビ・映画やドラマなどのメディアの影響も強いことがわかる。また、韓国でも学校教育の影響が最も大きいと考えている人が 32% いるが、新聞やテレビの報道だと答えた人が 44% と上回っている。

- 7) 歴史問題を解決するには、何が最も有効だと思いますか。(数字は%)

	日本	韓国	中国
納得する日本の謝罪	13	43	48
賠償問題の再検討	8	24	15
歴史認識を一致させる共同研究	22	23	19
韓国・中国の対日意識の改善	23	5	4
国民同士の幅広い交流	29	6	12

次に、歴史問題を解決する有効な手段として、日本人では「国民同士の幅広い交流」が 29% で一位となっており、また「韓国・中国の対日意識の改善」を求める声が強く、「納得する日本の謝罪」を上回っている。これに対し、韓国・中国では「納得する日本の謝罪」が圧倒的に多く、自国の対日意識の改善は極端に少なくなっており、日本と韓国・中国の人たちの意識の違いが明確に表れている。

このことに関連して、D のアンケートで以下の質問をしたが、日本の改善すべき点としての学生の意見は次の通りである。

D 「コミュニケーション論＜アンケート＞」

- 7) 今後日本と中国の改善すべき点は何だと思いますか？

＜日本＞

- ①a. 歴史認識を改める・過去を反省する (11)
- 過去の事実を後世に受け継がして同じことをしないようにする・認識すること・歴史問題をもっと認識すること・正しい知識をもつこと・間違いを正す・正しい歴史を学び、中国にしたひどいことを反省する・痛みを恐れず自らのあやまちを認めるべき。その上で今の問題にとりくむ・真実かどうかちゃんと確かめる・過去のあやまちを反省すべき・中国が一方的に悪いように言っている
- ①b. 話し合いを続ける・柔軟な対応 (11)
- 余り刺激的な言動をさける・何も抵抗しない方がよい・中国に対してもう少し優しくする・人の心を傷つけない・中国の立場も考

え、発言を控えるところは控える・自己中心にならない・これからも穏便に話し合いを進める・日本は中国にペコペコしつつ、アメリカの下につく。韓流ブームみたいに中国にも日本ブームを作る・中国との関係が良くなるようなことをしていく・よく話し合う・刺激を与えない事

③過去に対する賠償をする (7)

・改めて中国に対して、過ちの謝罪の意思を見せる・あやまる・ひたすら謝罪する・歴史的なこと、日本が中国にした事への謝罪・悪い事をしていたのは事実だったんだから、謝罪すべきと思う・「ごめん」って言う

④毅然とした態度で臨む (5)

・対等に付き合っていくようにする・強気な外交、中国にペコペコしない・中国に対しての考えをもっと真剣に考えるべき・言うておくべきことはちゃんとと言えるようにすること
・政府がもっと動いてほしい

⑤a. 教科書の内容を見直す (4)

・教科書の内容を増やす・中国が受けた傷をきちんと教科書などに載せたり、日本の悪いところもちゃんと教育するべき・教科書見直し・教科書等で日本が戦争で中国等にどれだけひどい事をしてきたのかを明記すべき

⑤b. 小泉首相の態度 (4)

・小泉さんは、参拝したいなら、誰にもバレずにコソっとすればいいと思う・政治改革を世界にも目をむけてほしい・総理をかえる
・小泉改革

⑦今まで通りでよい (3)

・今までどうりでイイと思う・特になし・通常通りでいいと思う

⑧a. 過去に対する賠償をする (3)

・6)で解答した事を全て清算すべき・過去のことを償う

⑧b. 領土・資源 (2)

・石油・島をそのまま

去に対する賠償」が7人と、E7)の結果よりも割合としては多くなっている。これに対して④aの「毅然とした態度で臨むべき」という意見が5人と少ない。

また、学生の意見として出された中国の改善すべき点は次のようにまとめられる。

<中国>

①(9)反日デモや過激な行動をやめる

①(9)過去にこだわりすぎ

③(7)相手の意見を聞く・話し合う

④(6)自分たちの態度を見直す

⑤(5)日本に対して謝る

⑥(3)教科書の内容・反日教育を見直す

⑦(2)正しい情報を流す

⑦(2)ゆるす

⑨(各1)・島をゆるす・今のままでいいと思う・日本次第・改善はむずかしい

中国側の改善すべき点では、やはり「デモや含めた過激な行動をやめる」と「過去にこだわりすぎている」と意見がどちらも9と多くなっている。また、教科書や反日教育への言及は3と少なめであった。

さらに、日本と中国の両方が改善すべき点や中立的な意見として以下のものがあり、今後両国にとって大いに参考となるものである。

<日本と中国の両方>

・どちらもお互いに良いところを知ろうとしないと、良くなるはずがない

・島は分け合うのが一番!!両国のものにすればいい!!

・中国の暴動は仕方ないのかもしれない。逆の立場なら、僕も暴動に参加したかも

・互いがちゃんと話し合う

・どちらとも、もっと話し合いが必要

・正しい情報を伝える

・謙虚になる

・自国のことだけ考えない

・一步引いてがんばる

・お互いの意見を聞くべきだと思う

学生の意見としては、①a.「歴史認識の改善」

①b.「話し合いを続ける」という意見がどちらも11人で1位となっている。また、③の「過

5. おわりに

昨年起こった反日運動は次第に沈静化し、約1年経った現在平静を取り戻しているが、何をきっかけにいつまた再燃するかわからない。東シナ海における海中資源開発や小泉首相の靖国神社参拝など、そのきっかけは至る所に横たわっているのが現実である。

ここでは、学生のアンケートを中心に彼らの中国を中心としたアジアの国々に対する意識を量ってみたが、彼らは彼らなりに身近な問題として考えようという姿勢が見られる。今後これらの考えや意見を参考にして、さらに中国や韓国を中心としたアジアの人たちの気持ちを量りながら、今後成熟した大人の関係構築していくために、日本人や他国の人たちは何をしなければならぬかを真剣に考えていかなければならない。

注

- 1) 「中国人」の説明としては、中華人民共和国、香港、台湾出身の人とし、日本で活躍している芸能人などでも構わないとして、挙げてもらった。また、回答の中で日本人や韓国・北朝鮮人であるものは除外している。
- 2) 東史郎は従軍日記に基づいて著書『わが南京プラトーン』を出版したが、彼の日記を多量に引用した『隠された聯隊史』(下里正樹著)、この日記も含む『南京事件京都師団関係資料集』(木坂順一郎他編、共に青木書店)に描かれた虐殺事件について、その実行者である元兵士が原告となり、これらの行為を否定し、彼の日記の記述は名誉毀損にあたるとして賠償を請求した事件があった。1996年4月、東京地裁は原告側の訴えを認め、東さんらに対して、名誉毀損の賠償として、50万円を支払うよう命ずる判決を下した。俗に「南京事件裁判」と呼ばれる裁判の被告である。

この裁判に対し、在日中国人留学生が東を応援し、その様子は中国において『実話実説』という番組で「戦争の記憶」と題して1999年4月18日、25日の両日に放送され、中国人の間に彼の名前が広く知られることとなった。(陽 陽「中国人留学生がみた東史郎=南京事件裁判」、

『人権と教育』31号特集「侵略戦争と罪責」

<http://www.jca.apc.org/nmnankin/magaz310.html>より)

- 3) 周海味、羅大佑は台湾の俳優。楊靖宇は共産党員。革命家。1905年、河南省確山県の生まれで本名は馬尚徳。北京大学を卒業したあと中国共産党に入党。1929年、中国共産党の指令により、妻子を残して「満州」へと赴いた。やがて「満州国」が成立すると1936年、それまでバラバラに活動していた抗日グループをまとめあげ、東北抗日連軍として再編成、その総司令に就任した。農村地帯を地盤とする東北抗日連軍は、農民と協力して各地で神出鬼没のゲリラ戦を展開、掃討に当たる日本軍、満州国軍を悩ませた。1940年2月23日、長白山のふもとの雪原を歩いていた楊靖宇は、警ら中の日本軍に見つかり銃撃戦の末、射殺された。その後、遺体を解剖してみたところ胃の中に残っていたのは、わずかな草根木皮だけだったという。(「中国近現代史 仮想体験旅行」<http://www.mediabahn.co.jp/china/index.html>より)
- 4) 岡村寧次。1884.5.15~1966.9.2。東京出身。1913年陸軍大学校卒業。32年上海派遣軍参謀副長、軍事調査委員長、関東軍参謀副長。35年参謀本部第2部長。36年第2師団長を経て38年6月第11軍司令官。40年軍事参議官。41年4月大将。同年7月北支方面軍司令官。44年8月第6方面軍司令官、11月支那派遣軍総司令官。45年7月極秘命令を受け重慶政府との和平交渉を行う。終戦命令を受け、混乱収拾のため、台湾、北越の陸軍と海軍支那方面艦隊の権限を統括し、45年9月降伏文書に調印。中国での戦犯裁判では無罪。(『統合戦争辞典』<http://www.netlaputa.ne.jp/~kitsch/ww2/jinbutu/okamura.html>より)
- 5) 現日本国天皇。

<参考文献>

- 天児慧 2003.『中国とどう付き合うか』日本放送協会
清水美和 2003.『中国はなぜ「反日」になったか』文芸春秋
莫邦富 2005.『日中はなぜわかり合えないのか』平凡社新書
横山宏章 2005.『反日と反中』集英社新書